

臨床研究に関する情報公開

「救急医療機関における自傷・自殺未遂レジストリの運用およびデータ利活用」へのご協力のお願い

研究事務局

いのち支える自殺対策推進センター 自傷・自殺未遂レジストリ事務局

当院の研究責任者

救急科 谷口 健太郎

研究の対象

当院に自傷・自殺未遂で受診された患者さんが対象です

研究目的

自殺未遂の経験は自殺の最大のリスク因子であり、自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐことは自殺対策において極めて重要とされています。

世界保健機関（WHO）は、自傷・自殺未遂に関する調査システムの構築・運用に向けた実用マニュアルを刊行し、調査システムの整備を呼びかけています。

本研究は、我が国で初めて全国規模で自傷・自殺未遂の症例データを収集し、患者の実態や医療機関における診療状況などを調査し、その後の対策に活用することで、再度の自傷・自殺行為の防止や、自傷・自殺未遂者に対する適切な対応などを検討することで、医療の質的向上と有効な自殺対策の確立を目指しています。

研究に用いる資料・情報

カルテ記載や検査所見等の診療情報

外部への資料・情報の提供

「自傷・自殺未遂レジストリ」へ、研究責任者が上記の診療情報等を基に症例報告を行います。

個人情報の取り扱い

研究に使用する情報から個人を特定できるものは削除します。研究活動において、対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。

研究資金源・利益相反

ありません。

お問い合わせ先

0598-21-5252 谷口 健太郎